

OMS

# 東急東横線沿線に新媒体 低層居住エリアがターゲット

屋外広告のメディアア  
ランニング業務を行う㈱  
OOHメディア・ソリュ  
ーション(OMS、本社  
東京、林朗子社長)は、  
このほど繁華街コンパ  
クトネットワークボード  
「Eyesight Net  
work Board  
(アイサイト ネット

ワークボード)」を開発  
販売している。  
この媒体は、東急東横  
線(2014年1月現  
在、中目黒、祐天寺、学  
芸大学、都立大学、自由  
が丘駅の5駅)沿線の低  
層居住エリアを対象と  
し、駅利用者や、商店街  
歩行者をターゲットに、

視認性の良いロケーションに設置した初の屋外ネットワークボード。

掲出方法は、壁面にポスターを貼付けるのではなく、あらかじめ取付けたアルミフレームに、出力したシートを差込むクイックジップ方式(シートは塩ビターポリン)を採用。

媒体サイズは、1・8(田)×2・4(ワ)び(縦横比は3対4)の9面。掲出期間は4週間。掲出料は350万円(媒体料、印

刷費、取付  
け作業費を  
含む)。

同社担当

者は、以前  
から新規メ  
ディア開発  
プロジェクトとして、  
街をメデア  
ア化し、ジ  
ヤック感を  
演出できる  
使い勝手の

良い媒体の開発に取組んできた。第一弾として、既存媒体が少なく、ラゲジュアリーなイメージのある東急東横線沿線に、全箇所新規交渉によりボードを設置した。いずれも低い目線位置にあり、生活者の動線を意識し、

「アイサイトネットワークボード」  
掲出イメージ(山手通り中目黒駅付近)



日用品や買い物周りをターゲットにする広告主の販促につながるものと位置付けている」と話す。

【問い合わせ】㈱OOH  
メディア・ソリューション(☎03・5720・  
2700)